

Long-Term Results of Gamma Knife Radiosurgery for Trigeminal Neuralgia

メタデータ	言語: en 出版者: 公開日: 2023-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 大樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00033457

主論文の要旨

Long-Term Results of Gamma Knife Radiosurgery for Trigeminal Neuralgia

(三叉神経痛に対するガンマナイフ治療の長期成績)

東京女子医科大学 脳神経外科学教室

(指導: 川俣 貴一 教授)

佐藤 大樹

World Neurosurgery (2022 Dec 28;S1878-8750(22)01816-2.)

【要 旨】

本態性三叉神経痛に対して、ガンマナイフ治療の短中期フォローにおける有効性が数多く報告されている。一方で合併症としての重篤三叉神経知覚障害は患者 QOL を著しく損なうため、治療適応は限定的であった。今回我々は、長期での本治療の有意性について検討した。2003 年 1 月から 2011 年 10 月、本施設においてガンマナイフ治療を施行した本態性三叉神経痛連続 249 症例のうち、正確な評価に込え得る、治療後最低 10 年間(平均 174[120-219]カ月)フォロー可能であった 103 例を対象として、電話での聞き取りと診療録を基に、除痛効果と、合併症(顔面知覚障害)について後方視的に検討した。初回、および最終での除痛効果あり(内服有無に関わらず疼痛なし)は 82.5%(85/103)、58.2%(60/103)であった。さらに知覚障害は 24.3%(25/103)に認められたが、重度の感覚障害は 2.9%に留まっていた。本態性三叉神経痛に対するガンマナイフ治療は、長期においても良好な除痛効果が得られた。また、長期フォローでの重度の感覚障害の割合は、他で報告されている短中期フォローでの割合と比較して低い結果を示し、長期の経過で自然に緩解する可能性が考えられる。したがってガンマナイフ治療を強く希望する患者には、治療適応の拡大を検討できる。